

2019 年度 福祉助成金（活動助成）成果報告書 提出用

公益財団法人 橋本財団
理事長 橋本 俊明 様

2020 年 5 月 31 日

ふりがな	とくていひえいりかつどうほうじんこどもかぞくせいかつさぼーとせんたーいとでんわ			
団体名	特定非営利活動法人子ども家族生活サポートセンターいとでんわ			
代表者名	役職名	代表理事	氏名	三宅奈美江
連絡先	住所	岡山市北区天神町 4 番 7 号 岩田豪事務所内		
	TEL	090-1187-5092		
	E-mail	kodomokazoku.itodenwa@gmail.com		
	URL	https://k-itodenwa.amebaownd.com/		
設立年（西暦）	2014 年			
主な活動	①ひとり親、ひとり親になろうとしている世帯の居場所づくり（サロン、学習支援など） ②ひとり親、ひとり親になろうとしている方への相談業務 ③面会交流支援事業			
活動の対象者	①ひとり親世帯の子ども、その親。または、これから離婚などひとり親となることを見据えている世帯 ②面会交流の支援を求める当事者			
助成活動名	ひとり親家庭の子ども及び親の支援			
助成額	45 万 7,000 円			
実施内容	目的	<p>地域から孤立しがちなひとり親世帯の相談先となることにより、孤立を防ぐ。相談にあたっては生活から福祉、法律と多岐にわたる相談に対応できるようスタッフには多職種の専門職が関わる必要がある。</p> <p>ひとり親世帯の相対的貧困率が高い現状において、解決の糸口の一つとして養育費の問題がある。離婚を検討する親にはその重要性を説明し、取り決めを行うようアドバイスを行う。すでにひとり親家庭となっている場合には、漏らしていないか確認をし、適宜アドバイスを行う。</p> <p>また、養育費と同列に語られることの多い面会交流の円滑な実施の支援を行い、子どもと別居親との関わりを途切れさせないようにする。子どもの権利を守り、子どもの健全な成長を促す活動とする。</p>		
	内容	<p>①相談会の定期開催、要請に応じた開催 ②母親サロンの定期開催 ③面会交流支援</p>		
	成果	<p>①ひと月に一度定期的に相談会を開催し、相談者の要望に応じて相談を行った</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例の相談会 12 回 ・出張相談会 2 回 ・個別相談対応 9 回 <p style="text-align: center;">相談者数 54 名</p> <p>②母親サロンを一月に一度開催した。バーベキューやピクニック等、個々の世帯では開催が難しいイベントも開催した。</p> <p>③面会交流支援を望む 3 世帯の相談に適宜応じた。取り決めの方法などアドバイスを行い、付添型の支援を 9 回行った。</p>		

<p>今後の課題と対応策</p>	<p>①月に一度の集まりの人数が増えたため、当日話せない利用者があるように思う。 →回数を分けたり、場所を分散するなどしてなるべく少人数とし、話せなかったということがないようにする。</p> <p>②相談はおおむね1回1時間程度ではあるが、</p> <p>③面会交流支援にあたって付添担当のスキルアップの必要がある。 →児童心理等、研修に参加したり講師を招聘する。</p>
<p>参加者・利用者の感想など</p>	<p>①子どもが定例会に行くことを楽しみにしている。</p> <p>②相談、話す相手がいなくて困っていた。</p>
<p>写真の提出</p>	<p>※当法人にはDV被害により避難してきた家庭が所属しており、その所在などは避難元に明かしていない。 従って、原則、母親及び子どもの画像を提出することができない。写真に子どもが映っている場合は、許諾を得たもののみである。また、大人はスタッフやボランティアである。</p> <p>◆母親サロンが行われている際には、子どもは子どもたちで遊んだり、勉強をしたりしている。</p> <p>紙粘土や紙コップ、折紙などを使って工作</p>    

◆イベント（BBQ、クリスマス会）

